

# 緑の地球

## GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



小さいけれど立派な小鳥の巣。春が近づいてきている（霊丘県南天門自然植物園）

### Contents

- 第16回会員総会のご案内 ..... P 2
- サントリー労働組合募金事情 ..... P 3
- 上海雑感・夏の黄土高原ワーキングツアー予告 ..... P 4
- 李向東の話(2) ..... P 5

2010.3

132

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク

## 緑の地球ネットワーク 第16回会員総会のご案内

北京や大同と行き来していると、最近中国における日本の存在感がなくなってきたと感じます。中国は豊かになってもう外国の援助は必要としない、という自信と勢いがみなぎっています。緑化にしても、近年は世界の人工造林面積の半分以上を中国が占めるといわれ、大同ですすめられている複数の国家規模の緑化プロジェクトでも大規模な植林がおこなわれています。

町の風景が一変するいきおいです。また大同市の再開発では、道路の両脇には見上げる高さの樹木がいきなり植えられています。

そんななかで、GENのささやかな緑

化協力にどんな意義があるのでしょうか。GENはずっと「植えるだけではない緑化協力」を旨としてきました。プロジェクトの規模、植える本数、面積では国家のプロジェクトにはかないません。しかし、菌根菌利用の育苗、積極的な混植の実施、地元樹種の活用をめざした育苗と試験栽培など、技術面での貢献はGENならではのものと自負しています。

今回、記念講演に議員時代から中国との関係が深く、いまでも緑化協力をつづけておられる武村正義さんをお迎えします。アジア、中国の環境問題、国際協力のあり方など、豊富な経験から

語られるお話が楽しみです。

【緑の地球ネットワーク

第16回会員総会】

●日時：6月12日（土）13時30分～16時40分

○記念シンポジウム：13時30分～15時

『中国の環境問題と日中の協力』

◇講師：武村正義さん（元衆議院議員、日中友好沙漠緑化協会会長）

○会員総会：15時20分～16時40分

●場所：大阪市立総合生涯学習センター第2研修室（大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル6F Tel. 06-6345-5000 JR「大阪」駅、「北新地」駅、各線「梅田」駅下車）

●総会終了後の懇親会は調整中です。

## ワン・ワールド・フェス 参加報告

2月6日～7日、大阪国際交流センターにて「ワン・ワールド・フェスティバル」が開催され、GENも活動紹介ブースに出展しました。今年は2日間で1万5千人近くが来場し、大盛況のうちに終了しました。

GENの活動紹介ブースでは写真パネルの展示、切り絵、絵はがきの販売などを行ないました。老若男女たくさんの方が次々と訪れ、当初は「本当に売れるの？」と心配していた商品たちも切り絵を中心に売り上げは好調。ラッシュジャパンから提供されたせっけんプレゼントも大好評でした。ボランティアさんの熱弁のお陰でたくさんの方にGENの活動を知ってもらえました。準備から当日の運営までボランティアとして大活躍して下さったみなさん、本当にありがとうございました。（河本）



## エコポイント報告と ご協力お願い

グリーン家電のエコポイント制度が、昨年5月にはじまりました。9月から、ポイントを環境保全活動をおこなっている団体に寄附できるようになり、GENもその対象団体になりました。このたび、第1回の寄附金額が確定しました。09年8月21日から10年2月18日分までで、41件、45,506円です。また、《交換事業者からの寄附》として、近畿日本ツーリスト（株）より、699,920円の寄附が決定しました。ご協力ありがとうございました。

この制度の対象になるのは、2010年12月31日購入分までです。これからグリーン家電の購入をお考えの方、ぜひご協力ください！詳しくは<http://eco-points.jp/>をご参照いただくか、家電販売店または0570-064-322までお問い合わせください。

また、3月から住宅版エコポイント制度もはじまっています。GENはこの制度でも環境寄附対象団体になっています。一定の条件をみたす新築住宅、リフォームに対してポイントが付与されます。詳しくは<http://jutaku.eco-points.jp/>をご参照ください。

## 書き損じはがき、使用済み切手等 ご協力に感謝

GENでは、使用済み切手、書き損じはがき、外国紙幣・コイン、商品券等のご協力をみなさんに呼びかけています。この1年間でたくさんの団体、個人のみなさんから提供していただきました。

書き損じはがきの切手交換分と未使用切手をあわせて、116,383円を通信費にあてさせていただきました。

使用済み切手、未使用テレカ、外国コイン・紙幣、商品券等は売却して68,931円になりました。中国山西省大同市の緑化協力活動に使わせていただきます。

今後ともみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

## GEN 事務所から お願い

春は新しいスタートの季節。進学・就職・転職などでお住まいが変わることも多いと思います。住所・電話番号・メールアドレスなどの変更がありましたら、GEN事務所に一報くださるようお願いいたします。



## サントリー労働組合募金事情

吉弘 浩子 (サントリー労働組合)

日頃からいろいろな形で GEN を応援してくれるサントリー労働組合。今回もチャリティーオークションの収益をたくさん寄付していただいたので、「オークションってどんなことするんですか?」と尋ねてみました。

サントリー労働組合では、年に2回募金活動をおこなっています。夏と冬のいわゆる「ボーナス時期」に合わせてです。全国にある事業所(組合では支部・分会という名称)で、それぞれ地道な「街頭募金スタイル」(もちろん職場で)から、クリスマスパーティーの一環としておこなうチャリティーオークションの「サザビーズ??スタイル」まで、趣向をこらし熱い募金活動が繰り返り広がられます。中でも今までに一番印象に残っているオークションは、女性社員の手作り弁当を落札するというものでした。たくさんの愛と食材のぎっ

しりつまったお弁当の落札価格はいかにも……と、こちらはみなさんの良識ある判断でご想像ください。

それ以外の活動としましては、年間を通じて募金箱を設置しています。外国コインや未使用プリペイドカードなどをいつでも入れられるようになっており、「ちょこっとくん」「こまめちゃん」というかわいらしい名称ながら数で稼ぐ収集力は「どかっ」とだと自負しているようです。

今後もこのような募金等で、微力ながらも GEN さんの活動のお役に立てれば幸いです。

をだしていただける方大歓迎。その旨もあわせてお知らせください。

詳細は3月末までに決めて、ご希望の方に案内をさしあげます。なお、参加希望者が多数になった場合、先着順といたします。

- 日時：5月15日(土)～16日(日)
- 場所：静岡県西伊豆宇久須周辺
- 参加費：1万円程度(予定。現地での食費・宿泊費、保険料含む。車代・飲み物代別途)
- 連絡先：上田信(〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1 立教大学文学部 上田研究室 E-mail: ueda@rikkyo.ac.jp)

## GEN 自然と親しむ会 無煙炭化器で炭を作ってみよう

GENの緑化協力地・中国大同で炭を使った植林を試みています。ここで威力を発揮するのが無煙炭化器です。

持ち運び可能なシンプルな装置で、1～2時間で間伐材などを炭にできます。私たちも実際に炭を焼いてみましょう。

国崎せせらぎ広場は一庫ダム(知明湖)の東北端に位置します。集合場所から徒歩約1時間です。日本の里百選に選ばれた川西市黒川地区を小ハイキングします。

行事終了後時間があれば西さんの炭窯を見学することもできます。ここは特産品の池田の菊炭を焼いています。

ぜひご参加ください。

- 日時：5月23日(日)10時から15時ぐらいまで
- 場所：川西市一庫ダムの国崎せせらぎ広場
- 集合：能勢電鉄「妙見口」駅前に10時
- 参加費：200円(保険料を含む)
- 持ちもの：作業のできる服装、軍手、弁当、飲み物、雨具、イモ類(焼き芋に挑戦)

- ：申込み5月20日(木)までに氏名、性別、年齢、住所、電話番号を明記して GEN 事務所へ

★雨天中止

## GEN 関東ランチ 宇久須合宿のご案内

美しい海と山、そして富士の絶景に恵まれた静岡西伊豆の宇久須地区。しかし、人口の4割以上が65歳をこえ、休耕田が目立ちます。

その休耕田をなんとかしようと、まちづくり協議会のスローライフ部会のみなさんが活動をはじめました。GEN 会員でもある藤原國雄さんのよびかけで「無煙炭化器による炭焼き講習会」を開いたところ、40名をこえる人が集まって新聞でも紹介されるほどの盛會ぶり。無農薬・有機・炭栽培で健康野菜をつくろうと活動しています。

こんな面白そうなことは見逃せません。伊豆の自然を満喫し、スローライフ部会のみなさんといっしょに炭焼きや畑での作業に汗を流しましょう。

参加希望の方は、連絡先・人数を明記した上で、4月16日までに上田(関東ランチ)までご連絡ください。車

## GEN 関東ランチ 月例会 今後の予定

会場はいつでも立教大学池袋キャンパス5号館1階会議室(「池袋」駅西口徒歩7分。http://www.rikkyo.ac.jp/access/pmap/ikebukuro.html)、時間は15時～18時ごろです。参加費無料、事前申し込み不要、どなたでも参加できます。

- 4月10日(土)  
野口 栄一郎さん(タイガの森フォーラム/FoE Japan)  
アムールトラ、タイガの森の自然・生物多様性、アムール川～オホーツク海のつながりや、森の人ウデへの伝統、日本とのつながりといった角度でお話ししていただきます。
  - 5月8日(土)  
ワーキングツアー報告会
  - 6月19日(土)  
児玉香菜子さん(千葉大学文学部)  
モンゴル牧畜民の砂漠化対策-中国内モンゴル自治区オールドス地域の事例から-
  - 7月17日(土)  
小川真さん(GEN 顧問)  
菌根菌・炭の有用性など、詳しい話をさせていただきます。
- ★問合せ先：上田信(上記)

# 上・海・雑・感

会田 伸子 (GEN 会員)

2010年2月14日、旧暦の元日にあたるこの日の晩、私は上海の街中に上がる一面の花火と地に鳴り響く大音量の爆竹音とともに春節を迎えました。私が中国で春節を迎えたのは、2004年に陝西省の農村に滞在していた時以来6年ぶりです。農村では爆竹が各農家の軒先で鳴り響き、-30℃の極寒の澄み切った空気の中、黄土高原の谷にシンプルな爆竹音がこだまし、心が洗われるような気持ちで春節を迎えたことを覚えています。またそれ以前にも北京と天津に滞在していたことがありますが、1990年代中旬以降、大都市では爆竹が禁止されたため、1993年の春節に北京で大音量の爆竹を経験して以来、爆竹の爆音が街中に鳴り響く「これぞまさに中国のお正月」という春節を味わったのは10数年ぶりとなりました。今年上海で経験した春節元日の夜は、10数年前の北京とも、6年前の黄土高原の農村とも全く様相が異なりました。立ち並ぶビルやマンション群のありとあらゆる隙間から巨大な打ち上げ花火が途切れることなく打ちあがるという圧巻の光景で、それは想像していた以上に豪華で、派手で、にぎやかでした。現在の上海の有り余るパワーを空いっばいに誇示しているように見えました。これで火事が起こらないのだろうかとはらはらしましたが、後日新聞が、この日の夜だけで上海市内で計228件の

火災が発生したと伝えていました。当夜は市の清掃作業員3万人以上が夜を徹して後片づけに追われ、処理された燃えかすはなんと1,000トン以上に及んだそうです。

昨年の7月に上海に居を移して以来、早、半年あまりが過ぎました。上海の街そして人々の熱気や勢いを日々感じています。今年2010年は上海で世界万博が開かれます。その準備のため、街のいたる所で地下鉄や道路の拡張、外壁のお色直し、建物の取り壊しなどがおこなわれています。この半年あまりの間にも街の様子がずいぶんと変わったと感じます。またすっかり車社会となった上海で、車の排気ガスに工事の砂埃が加わり、空気の悪さにはほとんど閉口しています。大気汚染は中国都市の共通の問題であることを改めて感じました。かたや通りの間隙を縫う様に走るスクーターや自転車の多くにはバッテリーが装備されていて、排気ガスの出ないクリーンな電気駆動車も深く浸透しています。中国政府の方針次第では、電気自動車の普及も結構あっという間に進むのではないのでしょうか。

そしてこの大都市上海の発展を農村からの出稼ぎ労働者が支えています。工事現場での肉体労働、レストランの給仕係、家政婦など、上海人がやりたがらない仕事は皆いわゆる「外地人」と呼ばれる出稼ぎ労働者で占められています。ビルや道路建設現場の片隅に出稼ぎ労働者の寮が設置されています。寮といってもどれも簡易的で、貨物コンテナが積み重ねられ、覗いてみるとその中に簡易式の3段ベットが所狭しと並んでいます。これでは40℃まで上がる上海の夏は猛烈に暑く、零下まで気温が下がる冬は猛烈に寒いでしょう。また工事は急ピッチで進んでおり、昼夜をとわず突貫工事がおこな

われています。ここ数年もっばら GEN での活動を通じて大同の農村で父親、夫、息子、娘を都会へ送り出す側の暮らしを見てきましたが、上海で改めて都会に出稼ぎに出た側の苦悩を垣間見ることになりました。上海に限らず、都会では出稼ぎ労働者はあらゆる面で差別されます。農村に働き口はなく、都会に出ても厳しい環境の中で酷使される。農村の人々の安住の地はどこにあるのでしょうか。春節に入り、多くの「外地人」が故郷に戻り、閑散とした上海の街を歩きながら、この時期一年にたった一度の一家団欒を楽しむ農村の人々に思いをはせています。

## 2010 夏の 黄土高原ワーキングツアー 予告

一昨年は北京オリンピック、昨年には新型インフルエンザのために実施できなかった夏のワーキングツアー。今年こそ、久々に夏の黄土高原を訪れていただけます。

今年はちょっと目先をかえて、時期を遅らせてみました。秋の気配も感じられるこの時期は、意外と花がきれいなのです。植樹作業以外に、植物の観察などを楽しめます。

詳細は次号でお知らせします。8月21日(土)～27日(金)に実施を予定しているので、参加希望の方はスケジュールにいられてください。



上海万博のマスコット、海宝 (豫園にて)



## 李向東の話 (2)



李向東さん(左)と立花代表(右)

高見事務局長による霊丘南天門自然植物園責任者李向東さんへのインタビュー、後編です。

日本の緑の地球ネットワークと関係をもつようになったのは、共産主義青年団の活動を通じてです。そのころ、私もまだ若かったので、共青团の活動に参加していました。霊丘県の共青团書記に、葛徳軍がいました。彼が緑の地球ネットワークの活動に関係していたんですね。

高見さんに最初にあったのは1994年の秋だったでしょうか。ブドウのなる季節だったのを覚えています。葛徳軍に呼ばれて、上北泉村にいったのです。高見さんと、もう1人の日本人がきました。(注・竹中隆さんのことです)葛徳軍が私を呼んだのは、みなさんに紹介するためでした。思い出したのですが、1994年春に、みなさんが下寨北村で最初に果樹園をつくるとき、あそこに私もいました。ですから、あったのは、そのときが最初ですね。

その翌年でしたが、三山村でも果樹園をつくることになったとき、手伝ってくれと葛徳軍に言われました。協力団の人たちもきており、植え方などを指導したのです。この活動に実質的に参加したのは、そのときが最初です。祁学峰書記ともそのときに知り合いました。彼はみなさんといっしょに毎回きていましたので、親しくなりました。

1997年だったと思いますが、祁書記が、植物園をつくりたいのであなたが

それをやってくれと私に話しました。(注・祁学峰はそのとき共青团大同市委員会の書記でした。いまは城区の区長です)いくらか長い注：1996年夏のこと、立花吉茂代表がワーキングツアーに参加して、霊丘県にもやってきた。上北泉村の果樹園をみて、私に「これやっ

ている男はできるよ。植物物のことをわかっている。このプロジェクトのために、引き抜いたらいい」と言われた。人物をみないで、その作品をみて、判断されたのだ。そのことを私は覚えていて、立花代表の発案ではじまる“植物園”を霊丘にもっていこうと考えたのだった。)それから候補地探しをはじめたのです。十数か所を探し、7か所に絞り込みました。その7か所は、遠田先生、高見さんもいっしょに見ました。そのうちの数か所には立花先生もいきました。碓氷山の自然林もそのときにみつけたのです。

この山のふもとには行ったことがあります。高いところは行ったことがありません。関心もなかったのです。ふもとに寺があり、水もあります。ここに植物園をつくれれば水をつかって灌水できるので、いいんじゃないかと思ったのです。アブラマツ、カラマツ、そしていくつかの灌木が生えていました。でも、その山のうえに、あのようないい森林があるとは思っていませんでした。山の中ほどに農家があります。そこで話をしていたら、上のほうにもっといい森林があるというので行って、あの自然林にであいました。

翌年高見さんがきたとき、その話をしました。いっしょに行くことにしたのですが、あのルートでいくのは私をはじめで、距離がわからなかったのです。(注・そのとき私たちはえんえんと引き回され、目的地にたどりついたのは、3回目の挑戦のときだった)最初

からあの森林を知っていたら、ほかの場所を探さなかったでしょう。私たちの南天門自然植物園も、遠くない将来、あの碓氷山に追いつきますよ。あそのものよりずっと成長が速いのです。

植物園にたいする感情は、だんだん深まっています。木を植えて育てるのは、子どもを育てるのといっしょですよ。夏は緑におおわれていますから上のほうははっきりみえませんが、いまの時期は葉がないので木の姿がはっきりみえます。下からみてわかるのは、高さ1m以上の木です。あるものは4mを超えています。アブラマツ、リョウトウナラ、シラカンバなど、いろいろです。(注・私「えっ、4m? 10m以上の木があるじゃない)4mというのは、自分で苗をつくって、植えたものことです。そりゃあ、やっぱり、自分で植えたもののほうがかわいいですね。

面積は1,300ムー(86ha)ですけど、ちょっと小さかったですね。そのなかでも、利用できる土地が少ない。とくに苗を育てる場所が足りない。たくさん苗をつくりたいんですけど、それだけの面積がないんです。なんとか1,000種類を育てたいと思います。努力すればぜったいにふやせると思います。

ことは60種類、去年は115種類の種を集めました。去年は北京、内蒙古、河北省などで種を集めました。ことは赤峰と承徳にいきました。赤峰には、小さいんですけど植物園がありました。ここにはシナノキの種類が多く、自分たちのところのないシナノキを7種類集めました。承徳はあまりありませんでした。合計で60種類です。

09年の秋、日本の専門家がきて、植物園でキノコを集めました。あとき38種類がみつかりました。その後、私は7種類の新しいものをみつけました。ていねいに調べると50種類を超えると思います。キノコから胞子液をつくり、苗にかけました。(次ページにつづく)

黄土高原史話〈49〉

## 山西匈奴騎馬軍団

映画なるもの、テレビやビデオでもほとんど観ないが、前回の拙文を下読みした編集子、『レッド・クリフ』の曹操役は貫録ある俳優が演じていた」と。

メール添付で拙文を送ったしばらくあと、その郷里の安徽省亳州で曹操の墓が見つかった、とのニュース（真偽のほどは定かならねど）。眠りを妨げられた曹操の祟りか、珍しく刷上がりに誤植多し。寿→陳寿、『新語』→『世説新語』、高句→高句麗、眼光麗→眼光炯炯、と訂正されたし。

内容的には、もう少し説明がいりましよう。匈奴にかつての勢威なく、だからその使者が本国に帰るのを曹操が拒む必要なし、という推定自体に誤りないが。

はるか遡って紀元後48年、匈奴は南・北に分裂し、このうち南匈奴は後漢に服属。いまの内蒙古自治区から山西北部にかけて、遊牧しつつ漢族と雑居、人口は50万に達したが、後漢への従属化も進行する。黄巾の乱のとき、於扶羅は騎馬軍団をひきいて出撃し、漢室を救援したことも。188年、内紛がおこって、美稷（内蒙古自治区准格爾旗）と平陽（山西臨汾）の両単于（王）がケンカ別れ。後者の方は216年、曹操に投降し、単于の弟は都の鄴に留め置かれ、その族衆は租税を負担、自立性をうしなって、弱体化していった。

谷口 義介（摂南大学教授）

かくみれば、曹操が匈奴の使者を恐れる必然性はあまりない。

しかし、このあと山西匈奴のあいだでは、統合・自立の動きが活発化。これに対し曹魏政権は、分割統治策をとり、その方針はつぎの西晋にもひきつがれた。図は、『晋書』が伝える匈奴の五部と魏・晋の要地（杉山正明『遊牧民から見た世界史』p.182）。一方、半農・半牧の生活のうちに、匈奴の定住化はすすみ、人口も100万を超えたという。

しかるに、山西匈奴騎馬軍団は健在で、すぐれたリーダーを求めていたが、その人物こそ於扶羅の孫・劉淵にほかならず。生粋の匈奴王子でありながら、ほんらい漢籍に通じた文人肌。ところが武芸を身につけるや、衆に抜き出

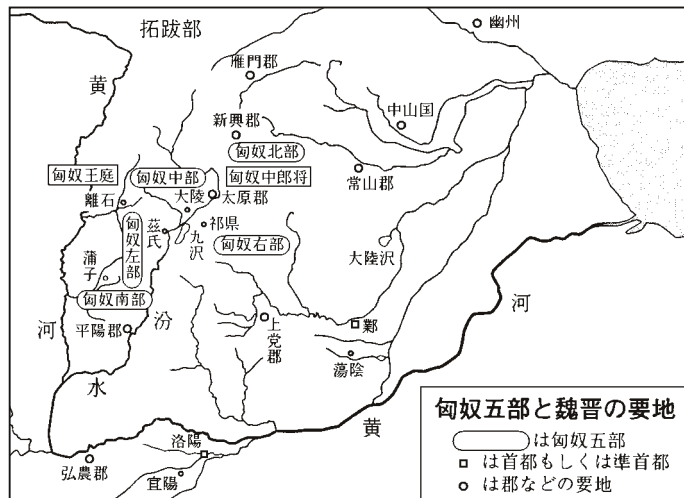
る技倆となった。身長2メートルを超す雄偉な体躯、アゴヒゲは70センチあったとか。魏から晋へと、その才幹を畏怖されて、都で飼い殺しにされかけたが、父が他界したこともあり、ようやく山西への帰還が許される。

かくして、虎は野に放たれた。匈奴にとっては、待望久しい統合の核の実現です。

以後、劉淵はみごとな指導者ぶりを発揮する。「財を軽んじて施しを好む」大人ぶり。五部の鉄騎はいわずもがな、河北の名儒・秀士まで千里も遠からずとやってくる。大単于に推戴され、西晋における八王の乱にはキーパーソンとして存分の活躍。

「今、司馬氏（晋王室）、骨肉あい残し、四海鼎沸す。邦を興し業を復するは、これその時なり」（『晋書』劉淵伝）

304年、ついに自立して漢王となり、308年には皇帝たるを宣言した。匈奴による漢王朝の出現で、五胡十六国時代の幕が開く。即位2年後、惜しくも劉淵は死去するが、311年、匈奴の騎馬軍団は洛陽を陥し、西晋王朝は滅亡へ。



（前ページからつづく）樹木に名前をつけるなど、これからの仕事もたくさんあります。

あるものは植え終わりました。灌木性のトネリコ（小葉白蠟樹）、野生のモモ（山桃）などはもういりません。ナラの苗は6～7千本ありますけど、これはみんな植えます。ナラは10種類以上になりました。イチヨウもありますけど、生育ぶりはよくありません。直径5cmほどです。周金の家に1本植えましたし、上北泉の党書記の家にも1本植えたんですけど、それらは直径10

cmくらいになっています。彼らの家は海拔が低いので、その分、気温が高くて育ちがいいのでしょうか。

ナラの生育がいいのは、霊丘県の南山区ですね。植物園のあるあたりが中心です。私たちが回ったなかでは、内蒙古の赤峰市の南にナラの林がありました。海拔は1,000m以上のところで、リョウトウナラが多い。ナラの太いものは多くないですね。

下関には太いカシワがあります。去年の夏、専門家のみなさんにみてもらいました。あれは、個人のお墓のもの

です。そうでなかったら、伐られてしまってますよ。カシワはいい木ですから、名のある人やお金持ちが、お墓に植えたのです。牛帮口村の入口に、大きなカシワがありますが、あれを植えたのは、地元の名家です。下関郷の岸底村からは、李冠洋という閩錫山の秘書がでていますしね。高見さんといっしょに、カシワの林をみたことがありますね。あれも、墓地をつくるときに、最初に植えたものだと思います。お墓だと、伐りにいく人がいせんから、そのまま残ります。

## 植物屋のこぼれ話 (続編) その 29

立花 吉茂 (GEN 代表・花園大学客員教授)

### ●食用カンナの話

カンナといえば夏の暑い時に赤、白、黄色と咲き誇る大きな草花、というイメージだが、いま沖縄で話題の植物のひとつが「食用カンナ」である。澱粉の収量が大きく、未来の食料不足の切り札候補だが、飽食の現在は目先のかわった食べ物にすぎない。しかし、これを擦り下ろして小麦粉を混ぜたソバやウドンの味は格別で、植物繊維がたっぷり、で健康食品として注目してよいものである。

戦後すぐに日本に導入されたが(戦前からあったかもしれない)、植物園などで見本的に保存されていたにすぎない。NPO 法人沖縄有用植物研究会を立ち上げてから材料を沖縄に持ち込んでニュースを流したらアツという間に広がっていった。もともとすでに沖縄にもたらされていたから、そんなに面白いものなら、と各地で急速に話題になったらしい。琉球大学農学部の本村教授が力を入れておられ、これを専攻する

学生まで現れた。

### ●食用カンナのルーツ

いまでは世界中の熱帯・亜熱帯で栽培されているが、元々熱帯アメリカの原産で、インディオの食糧として古い歴史をもつ。ペルーのカスマバレーの出土品は B.C. 2250 ~ 1750 の塊茎であるとされ、その古さがわかる。しかし食用カンナの起源には諸説があり、バビロフ氏 (1935) は中央アンデス付近と唱え、ペルー南部の山中だとヘレラ (1942) が報告し、ガデ氏とサウア氏 (1952、1966) はコロンビアの山中だと述べ、コーエン氏 (1978) はペルー北部の海岸だと報告している。いずれにせよ野生化した地域は中南米に広がり、森林の暗い場所、明るい海岸、乾燥地や湿地にまで見られる丈夫な植物で、コロンブスの大陸発見から後にアフリカやアジアにまで広がったとされている。熱帯アジアであまり重要視されていないのは、食用カンナが土壌条件や水条件の悪い場所で生産できるが、熱

帯アジアは水条件が良好で、米や他のイモ類がよくできるからであろう。その点、乾燥地の多いアフリカやアメリカの熱帯地域で重要視されていてその栽培が多い。

### ●今後の問題点

食用カンナはサツマイモ同様に種子芋さえ保存すれば温帯で栽培できるが、その貯蔵方法がまだ研究不足である。沖縄では畑に放置すれば腐ることなく、4月から7月まで以外はいつでも掘りにとって利用できる。最も収量の多いのは冬の期間である。

カンナの塊茎は澱粉として高い価値を持つ。キャッサバやタロイモよりもアミロース含量が高いという杉 (1983)。現地では塊茎を掘りにとって調整し、切って焼いたり、煮たりして食べている。飯塚宗夫 (1987) は今後、研究改良すべき点として①悪条件適応性系統の遺伝子入手、②高生産性 (塊茎収量と澱粉含量)、③半矮性化、④塊茎の形態の改善 (取り扱いの容易さ)、⑤倍数性の研究などを挙げている。筆者が追加する点があるとすれば、ウドンやソバのみならず、食品としての利用方法の研究開発を望みたいものである。

主なカンナ科植物の遺伝的変異のひろがり

種名	2n	遺伝的変異のひろがり	種名	2n	遺伝的変異のひろがり
<i>C. aureo-vittata</i>	18	—	<i>C. lagunensis</i>	—	メキシコ、西インド
<i>C. chinensis</i>	—	中国南部、ジャワ	<i>C. lanuginosa</i>	—	ブラジル、ペルー
<i>C. discolor</i>	18	中米	<i>C. latifolia</i>	—	Syn. <i>C. gigantea</i>
<i>C. edulis</i> Syn. <i>C. esculenta</i>	18, 27	南・中米、西インド	<i>C. liliiflora</i>	—	パナマ
<i>C. flaccida</i> *	18	米国南東部	<i>C. limbata</i>	—	ブラジル
<i>C. generalis</i>	18	栽培	<i>C. lutea</i> Mill.	18	熱帯および亜熱帯アメリカ
<i>C. glauca</i>	18	西インド、南米	<i>C. pedunculata</i>	—	南米、西インド
<i>C. humilis</i>	18	—	<i>C. speciosa</i>	—	インド
<i>C. indica</i>	18, 27	中・南米、西インド	<i>C. werscewiczii</i>	—	コスタリカ、ブラジル
<i>C. iridiflora</i>	—	ペルー (推定)			

染色体数は主として Fedorov (1974) による。\*栽培種の一祖先。

## 環境林センターの移転

環境林センターは1994年4月に着工し、私たちの協力の拠点かつシンボルとして重要な役割を果たしてきました。ところが大同市の開発計画で、100 ha の植物園が建設されることになり、そ

の敷地内にはいってしまいます。大同市は私たちの協力事業を重視し、代替地を提供することになっています。あそこがなくなるのはほんとに残念ですが、現地の自立を最優先して新たな建設に向かいたいと思います。(高見)





第13回六甲奨学基金のための  
古本市

六甲奨学基金は、兵庫県下の留・就学生への奨学金や日本語ボランティア教室を支えています。古本市は、基金の募金活動の一環です。

- 受付期間：3月1日～31日まで（この期間以外は受け付けられません）
- 送付方法：直接持参または送料送り主負担で送付

【注意】

- ・汚れ・破れのひどいものは不可。
- ・辞書大歓迎。絵本、マンガ、洋書可。
- ・雑誌、教科書、参考書、コンピュータ解説書、文学全集、百科事典等は不可。
- ・CDも集めます（Video、番組を録画したDVDやコピーCDは不可）。
- ・お送りいただいた本は返せません。
- 送り先・問合せ先：（財）神戸学生青年センター古本市係（〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 Tel. 078-851-2760 Fax. 078-821-5878 E-mail : info@ksyc.jp URL http://

\*当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。  
\*当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

ksyc.jp)

- ★六甲奨学基金のための第13回古本市
- 3月15日～5月16日まで毎日開催  
9時～22時 1冊100円～300円

土佐ブントンをどうぞ

土佐の春の香をお楽しみください。

【土佐文旦】

- A 3,4L 5kg 6～9玉 4,000円
- B 2L 〃 10玉前後 3,500円
- C L 〃 12玉前後 2,900円
- D M 〃 14玉前後 2,200円

- ◆10kg箱もあります。
- ◆送料別途：関西630円、関東840円 北海道1,050円（20kgまで）
- ◆問合せ・注文：田中農園 田中隆一（〒781-7412 高知県安芸郡東洋町河内203 Tel/Fax 0887-29-2500 E-mail : tanakan@quolia.ne.jp）
- ※売り上げの一部をGENに寄付いただいています。ご注文の際、「GENの紹介」と一言そえてください。

NPO法人 自然と緑  
ふれあいハイク活動計画

- 必ず事前に主催者にご確認ください。
- 実施日/場所・内容/集合場所・時間
- 4月29日（木・祝）/多武峰「談山神社」から明日香へ/近鉄桜井駅10時15分
  - 5月30日（日）/書写山「圓教寺」/JR 姫路駅10時
  - 6月26日（土）/甲山、仁川/阪急 仁川駅10時
  - 7月19日（月・祝）/丸山湿原/ JR 武田尾駅10時
  - 8月29日（日）/赤目四十八滝/近鉄赤目口駅9時45分
  - 参加費：一律300円
  - 雨天決行、警報発令時中止
  - 主催・問合せ：NPO法人自然と緑（〒537-0025 大阪市東成区中道3-2-34 Tel. 06-6978-5060 Fax. 06-6978-5061 E-mail : sizen\_mi@osb.att.ne.jp URL http://home/att.ne.jp/iota/sizen\_midori)